

ニュージーランド ゼスプリ・キウイは前向きな輸出予測

FreshFruitProtal 2024年2月26日

ニュージーランドのキウイフルーツ大手ゼスプリは、2023-24年度シーズンの出荷量について、同社の以前の予測と同じ1億9,300万箱の前向きな予測を発表した。これは、同社が複数の天候問題と労働力不足や投入コストの増加に直面して厳しい業績となった2022-23年度の後に続くものである。

ゼスプリのダン・マシソンCEOは、同社は市場の課題を踏まえ、確実に価値を高め、損失を埋めることができていると話す。同氏は2月21日のプレスリリースで、「特にグリーンキウイの収益の改善が実現したことは喜ばしい。これは、ヨーロッパ市場をはじめとして少ない販売量で販売額の増大を確保できたことと、日本と北米の市場における業績が好調なことによるものである」と述べている。

このセクターは高い期待を維持した。今シーズンの出荷量は、昨シーズンの1億3,300万箱から大幅に増加し、全世界での販売額が16%増の28億4千万ドルと過去最高であった2021年の1億7,500万箱をも上回ると予想される。

ゼスプリは、グリーン、有機グリーン、サンゴールド、及びルビーレッドの各ブランドのキウイフルーツの一箱当たりの収益が好調であると予想している。これらはすべて、昨シーズンの果樹園出荷収益(OGR: 一箱当たりの果樹園への支払額を決定するための業界指標)を上回ると予想される。

すべての品目で1ヘクタール当たりの予想OGRは、前回の予測よりも増加した。グリーンとサンゴールドの現在のOGRは、2022年シーズンの最終収益を上回っている。

リリースは、「2月の予測では、グリーンは記録的な1箱当たり9.44NZドルとなっている。サンゴールド・キウイフルーツの収益も1箱当たり12.62NZドルと記録的な水準で、有機サンゴールド・キウイフルーツは14.21NZドルとなっている。ゼスプリ・ルビーレッド・キウイフルーツの1箱当たりの予想平均収益は記録的な26.54NZドルである」としている。(2024年2月時点で1NZドル=約92円)

有機サンゴールドを除くすべての品目で、1箱当たりの収益は記録的なものになると予想されている。同社は、サンゴールド・キウイフルーツとルビーレッド・キウイフルーツは「強い需要がある」としている。ルビーレッド・キウイフルーツは、今シーズン、国際市場に初めて(本格的に)入荷することとなっている。

ダン・マシソンCEOは、このセクターの各段階の取組みが果実の品質向上とコスト削減に貢献し、これから始まる2024年シーズンを好成績に導く条件を作り出したと評価している。

マシソン氏は「1箱当たりの収益に重点を置くことに加え、2月の収穫予想では期待される収量が大幅に改善したことから、これからのシーズンの生産者の1ヘクタール当たり収益の改善も期待している」と述べた。

訳注: この記事で「収益」とは、1箱当たりまたは1ヘクタール当たりの生産者の受け取り額を言います。